

III. 海外の標本

(3) K/Pg 境界 実物ブロック標本

標本番号 KPM-NL 432

標本名 K/Pg 境界 実物ブロック標本

大きさ 幅 0.5 m, 高さ 1.0 m, 奥行 0.5 m

重量 300 kg

形状・展示・収納状況 台座と一体化、大型収蔵庫内に
収蔵

採集地 デンマーク王国スティーブン・クリント海岸

緯度・経度 N55°16'02", E12°25'24"

標高 10 m

露頭の種別 海岸沿いの海食崖

露頭面の向き、傾斜 ほぼ南北、垂直

堆積物の種別 白亜紀石灰岩、境界粘土層、新生代石
灰岩

年代 6550 万年前

採集作業者 ステン・ヤコブセン氏（コペンハーゲン
地質博物館）

採集日 1992 年 8 月 31 日

関連文献等

Surlyk F, Damholt T. & Bjerager M. (2006) Stevns Klint, Denmark: Uppermost Maastrichtian chalk, Cretaceous-Tertiary boundary, and lower Danian bryozoan mound complex. *Bulletin of the Geological Society of Denmark*, 54: 1-48.

解説 中生代白亜紀と新生代古第三紀の時代境界（K/Pg 境界）を示す露頭のブロック標本である。スティーブンス・クリント海岸は、デンマークの首都コペンハーゲンの南方 45 km にある約 15 km にわたる海食崖である。白亜紀マーストリヒアン期の最上層から古第三紀ダニアン期の最下層が露出している。両層の境界にはイリジウムを含む数センチメートルの黒色粘土岩層が挟まれ、K/Pg 境界を明瞭に示している。世界でも K/Pg 境界が特によく露出した場所の一つという地質学的に重要な価値が認められ、2014 年に UNESCO の世界遺産リストに登録された。

標本は、現地で露頭を保護した状態にしたものをブロックの状態で採取（切り取り）して運搬し、台を付けたもの。

記録者 平田大二



図 III-3-1. 採集地点の露頭の様子。



図 III-3-2. 採集地点の周辺の露頭の様子。



図 III-3-3. 標本の写真。